

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-277946

(P2001-277946A)

(43) 公開日 平成13年10月10日 (2001.10.10)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

データベース(参考)

B 6 0 R 7/05

B 6 0 R 7/05

3 D 0 2 2

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-101844(P2000-101844)

(22) 出願日 平成12年4月4日 (2000.4.4)

(71) 出願人 596144403

森 博

三重県四日市市新浜町17番11号

(72) 発明者 森 博

三重県四日市市新浜町17番11号

(74) 代理人 100084526

弁理士 岡 賢美

Fターム(参考) 3D022 CA14 CA15 CB01 CB04 CB05

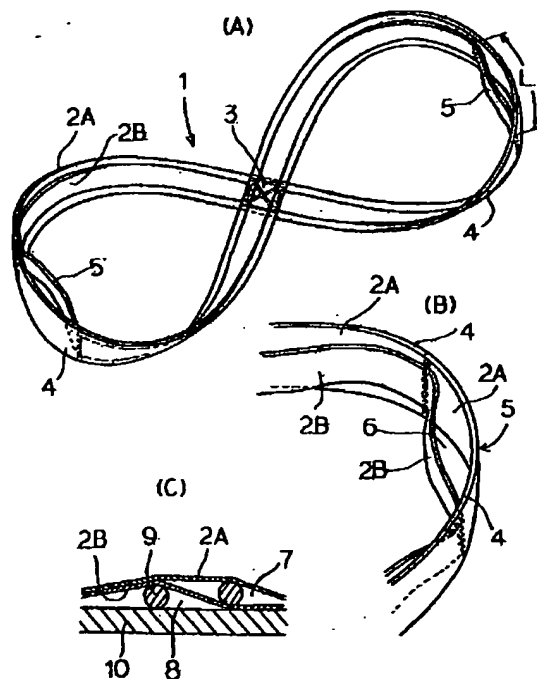
CC05 CD30

(54) 【発明の名称】 自動車サンバイザー用物挟みバンド

(57) 【要約】

【課題】 自動車運転者が車内に携帯して、運転中や停車中に取り出したり元に戻す「ボールペン・眼鏡・メモ・伝票」等の諸物品を、不安全運転を誘発することなくワンタッチ的に「クランプ保持セット・取り出し」が可能にして、かつ、そのクランプ保持の容量が大なるサンバイザー用物挟みバンドを提供する。

【解決手段】 伸縮自在のエンドレス状の弾性バンド2Aから成り、中間クロス部3で交差すると共に、中間クロス部3の両側を一对の環状部4に形成し、さらに、環状部4の両端に自動車サンバイザー10のコーナー11を嵌め込み掛止するコーナー掛止部5を備え、自動車サンバイザー10に着脱自在に装着して、自動車サンバイザー10の表面10Aと裏面10Bに環状部4の弾性バンド2Aを平面弾着セットし、該弾着セットの弾性バンド2Aとサンバイザーの表面・裏面間を物挟みクランプ部に成す構造の自動車サンバイザー用物挟みバンド1が特徴である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 伸縮自在のエンドレス状の弾性バンドから成り、中間クロス部で交差すると共に、該中間クロス部の両側を一对の環状部に形成し、さらに、該環状部の両端に自動車サンバイザーのコーナーに掛止するコーナー掛止部を備え、前記自動車サンバイザーに着脱自在に装着して該自動車サンバイザーの表面と裏面に前記環状部の弾性バンドを平面弾着セットし、該弾着セットの弾性バンドと該サンバイザーの表面・裏面間を物挟みクランプ部に成す構造を特徴とする自動車サンバイザー用物挟みバンド。

【請求項2】 上側弾性バンドと下側弾性バンドを重ね合わせた二重バンド構造にして、自動車サンバイザーへの装着セット状態において、該自動車サンバイザー一面と該下側弾性バンド間を下側クランプ部、前記二重の弾性バンド間を上側クランプ部と成す二層クランプ構造からなる請求項1の自動車サンバイザー用物挟みバンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、乗用自動車・貨物自動車等の各種自動車のサンバイザーに着脱自在に装着して、運転走行するときに必要な「ボールペン・眼鏡・道路通行券・通行料用紙幣・メモ・伝票類」等の諸物品をワンタッチ的に外し自在に挟み保持するのに使用する「自動車サンバイザー（日よけ板）用物挟みバンド」に関するものである。

【0002】

【従来の技術】自動車の運転者は、単なる道路走行・荷物の集配走行・タクシー走行のいずれの場合でも前記の諸物品の必要なものを車内に携帯し、走行中や停車時に適宜取り出して使用するケースが多く、その便宜を図るために「サンバイザーに物入れポケット」を設けたり、別体の伝票収納ケース等の専用容器を座席に置いたり、或は、眼鏡等をダッシュボードの上にそのまま置いたりする対策が採られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】以上の従来の自動車走行用必要物品の車内収納対策は、以下の不便性と不安全性がある。即ち、サンバイザーの物入れポケットは、通行券・メモ用紙等の薄紙の収納・取り出しには適するものの、ボールペン・眼鏡等の保持性に欠けるので無理入れますと、走行中落下して運転不安全をもたらすおそれがあり、その上、その物入れポケットはサンバイザーの表面の一部に小さく設ける程度のため収納容量が少く収納性に欠ける。

【0004】そして、ダッシュボードの上に眼鏡等をそのまま置くと、車体振動によって落下することがあり、その落下物を運転しながら拾い上げようとする不安全運転を誘発することがあり、さらに、集配荷物の伝票類を専用容器に入れて座席上に置いておくと、例えば宅配便

のように、荷物集配のたびに伝票を収納容器からいちいち出し入れする面倒な作業になって集配作業性を損う不具合がある。本発明は、以上の従来の不具合を解消する自動車サンバイザー用物挟みバンドを提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】以上の技術課題を解決する本発明の自動車サンバイザー用物挟みバンドは「伸縮自在のエンドレス状の弾性バンドから成り、中間クロス部で交差すると共に、該中間クロス部の両側を一对の環状部に形成し、さらに、該環状部の両端に自動車サンバイザーのコーナーに掛止するコーナー掛止部を備え、前記自動車サンバイザーに着脱自在に装着して該自動車サンバイザーの表面と裏面に前記環状部の弾性バンドを平面弾着セットし、該弾着セットの弾性バンドと該サンバイザーの表面・裏面間を物挟みクランプ部に成す構造」になっている。

【0006】即ち、本発明の自動車サンバイザー用物挟みバンドは、一本のエンドレス状の弾性バンドを「算用数字の8の字形状」にして中間のクロス部の両側の一对の環状部の端部に「長方形状の自動車サンバイザー（以下、単にサンバイザーという）の両端コーナーを嵌めたり掛け止めするコーナー掛止部」を設けた形状から成り、その中間クロス部をサンバイザーの上縁中央に跨がせてサンバイザーの表面と裏面に前記環状部の弾性バンドを平面接させて引伸ばすと共に、一对のコーナー掛止部をサンバイザーの下縁の両側コーナーに掛け止めセットしてサンバイザーに装着し、そのサンバイザーの表面と裏面に「八の字状」と「逆八の字状」の物挟みバンドを緊締セットして、その弾性バンドとサンバイザー間を物品の挟みクランプ部に成す構造を特徴としている。

【0007】そして、前記構成の本発明のサンバイザー用物挟みバンドは、上下二枚の弾性バンドを重ねた二重バンド構造にして、その下弾性バンドとサンバイザー間の下側クランプ部と、上下の弾性バンド間の上側クランプ部の二層クランプ部構造に成し、弾性バンドによるクランプ機能の安定向上を図る態様を採択する。

【0008】

【作用】以上の構成の本発明の自動車サンバイザー用物挟みバンドは、起伏させて表面・裏面を運転者側に自在にセットできるサンバイザーの両面に弾性バンドを面接緊締した「八の字状と逆八の字状」の物挟みクランプ部が設定できるので、眼鏡や厚みのある書類等でも的確に挟み込みクランプして、車体振動によって落下することなく的確に保持できる。そして、その物挟みバンドへの物品の挟みセット・外しが極めて簡便にしてワンタッチ的に可能であり、運転走行しながら物の嵌め外しをしても不安全運転をもたらすおそれが極めて少い。

【0009】さらに、サンバイザーの両面に物挟みクランプ部ができるので、大なる保持容量が設定できると共

に、例えば宅配便車等の場合は、使用済伝票と使用前伝票をサンバイザーの表面と裏面に層別クランプし、伝票整理の効率化が促進できる。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明第一実施例の自動車サンバイザー用物挟みバンド1を（以下、単に物挟みバンド1という）図1・図2に基づいて説明する。即ち、この実施例の物挟みバンド1は、エンドレス状の伸縮自在の弾性バンド2Aからなり、この弾性バンド2Aの中間を重ね合わせて固定した中間クロス部3を設けると共に、その中間クロス部3の両側に同形同一サイズの環状部4を対称一対に形成した「算用数字の8字形状」に成っている。

【0011】そして、その「8字形状」の頭部と底部に当る環状部4のそれぞれの端部には、弾性バンド2Aの内側に沿えて重ねた他の弾性バンド2Bを長さLにして、その長さLの両端を弾性バンド2Aに縫合固定し、（図1（B）参照）その二重の弾性バンド2A・2B間を開くことによって、その開いた空間6に（図2参照）サンバイザー10のコーナー11を嵌めてコーナー11に掛け止めするコーナー掛止部5が設けてある。

【0012】そして、この実施例の物挟みバンド1は「幅広にして外側になる弾性バンド2A」と「幅狭にして内側になる弾性バンド2B」を相互に離反自在に重ねた二重バンドによって全体が形成され、その二重バンド2A・2Bによってコーナー掛止部5・環状部4・中間クロス部3が形成されている。そして、後述するサンバイザー10への装着状態において、サンバイザー10と内側の弾性バンド2B間の下側クランプ部8と二重の弾性バンド2A・2B間の上側クランプ部7を設定し、この上側・下側クランプ部7・8のいずれかにボールペン等の物品9が挟みクランプできるようになっている。

【0013】以上の図1実施例の物挟みバンド1は（図2参照）中間クロス部3を「サンバイザー10の上縁12（または下縁）の中央に跨がせて」環状部4によってサンバイザー10を挟み込み、その挟み込み状態の環状部4のコーナー掛止部5を開いてサンバイザー10の下縁両側のコーナー11を嵌め込んで掛け止めセットすると、サンバイザー10の表面10Aと裏面10Bに環状部4の弾性バンド2A・2Bが平面接して緊締弾着して「対称形状・同一サイズのハの字形状と逆ハの字形状」にセットされ、この弾性バンド2A・2Bがなすクランプ部7・8に自動車の運転走行に必要な諸物品9をワンタッチ的にクランプ保持したり、ワンタッチ外して使用する。

【0014】以上の図1実施例の物挟みバンド1は前記の作用があると共に、二重にした弾性バンド2A・2Bによる上側クランプ部7と下側クランプ部8が存在するので、厚みのある物を近接してクランプするとき、その上側・下側クランプ部7・8を個別に利用することによ

って、クランプによって持ち上がった弾性バンド2A・2Bによる弾着緊締力の低下を防止して、的確にして安定したクランプ性能が確保できる特有作用がある。

【0015】続いて、図3を参照して本発明の他の実施例の物挟みバンド1を説明する。即ち、エンドレス状の巻着バンド2Aによって、中間クロス部3と一対の環状部4を有する「8の字形状」に形成したものにおいて、この図3実施例のものは単枚の弾性バンド2Aのみからなり、その一対の環状部4の端部に短小の弾性バンド3Cを添着固定し、その弾性バンド2A・2C間をコーナー掛止部5に成した構造を有している。この図3実施例のものは弾性バンドが単枚構成であることから、図1実施例のものよりクランプ性能が若干劣るものの、自動車の運転者用携帯物のクランプ用として充分に実用できる。

【0016】なお、本発明の物挟みバンド1は前記実施例の用法のみでなく、下記のような用法にすることがある。即ち、切欠き凹形状のサンバイザーコーナー11の場合は、掛止部5を開かないで（弾性バンドを二重にしたまま）掛け止めしたり、大型自動車等の場合には、2本の物挟みバンド1を単一のサンバイザー10に装着して、表面10Aと裏面10Bのそれぞれに「ハの字状」と「逆ハの字状」がクロスした形態に弾性バンド2を弾接設定して、クランプ性能の一段の向上を図ることがある。

【0017】

【発明の効果】以上の説明のとおり、本発明の自動車サンバイザー用物挟みバンドは、起伏させて表面・裏面を運転者側に自在セットできるサンバイザーの表面・裏面の全面を活用した物品クランプ部が、大なる容量で設定できると共に、的確にして安定したクランプ性能が確保できるので、車内携帯物品にして運転者が運転中や停車時に出し入れする諸物品のワンタッチクランプ保持セットと取り出し使用が極めてし易く、その上伝票類・書類資料等の層別クランプ収納も可能にして、広く自動車運転者の便宜向上と不安全運転の誘発防止による安全走行の促進を図る有用な実用的諸効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明第一実施例の自動車サンバイザー用物挟みバンドを示し、（A）はその全体斜視図、（B）はそのコーナー掛止部の平面図、（C）はサンバイザーに装着状態のクランプ部を示す側面図

【図2】図1実施例の自動車サンバイザー用物挟みバンドの使用状態を示し、（A）はサンバイザーの表面側の斜視図、（B）はサンバイザーの裏面側の斜視図

【図3】本発明の他の実施例の自動車サンバイザー用物挟みバンドを示し、（A）はその正面図、（B）はその平面図

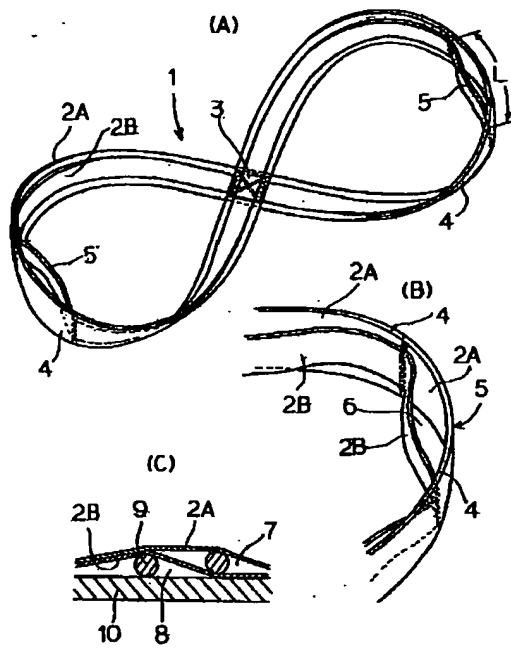
【符号の説明】

1 自動車サンバイザー用物挟みバンド

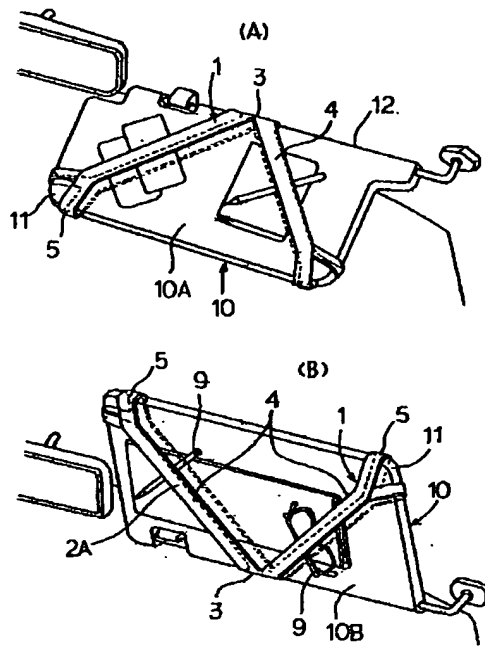
- 2A・2B 弾性バンド
 3 中間クロス部
 4 環状部
 5 コーナー掛止部
 7 上側クランプ部
 8 下側クランプ部

- 9 物品
 10 サンバイザー
 10A サンバイザーの表面
 10B サンバイザーの裏面
 11 サンバイザーのコーナー
 12 サンバイザーの上縁

【図1】



【図2】



【図3】

